

# 京都のミカタ

ミカタとは、市民の見方、くらしの味方という意味を表しています



## 新体制で 凛々しくスタート!

### 京都市議会改革へ本格始動!

公明党京都市会議員団は、谷口弘昌  
団長・久保勝信副団長・曾我修代表  
幹事の新体制で、清新のスタートを  
切りました。現場第一主義で地域の  
チカラを結集し、京都活性化へ全力  
投球します!

地域のチカラ、  
時代を開く政策提言!

東日本大震災という未  
曾有の災害からの復興を  
スタートする今は、まさに  
時代の転換期といって過



言ではありません  
ん。京都から新し  
い時代を切り開  
くとの決意で、公  
明党議員団はコ  
ツコツと地域を  
歩き、本会議や常  
任委員会で、市民  
のための政策を  
提言しています。  
誰が本当の京都  
の味方なのかを、  
具体的なカタチ  
で証明しようと  
の想いで――。

復興支援、  
危機管理へ、  
補正予算を修正

統一地方選挙  
後、はじめて招集  
された5月定例  
会では、震災復興  
支援・被災者の



方々へのサポート・防災総  
点検などの重要施策が、  
総額309億9800万  
円もの一般会計補正予算  
として計上されました。

予算委員会では各議員  
が活発な質疑を展開。採  
決に当たっては、異例の修  
正案が提出され、議員報  
酬1割削減と費用弁償廃  
止によって捻出された1  
億300万円を財源とす  
ることで、全会一致で成立  
しました。

地方分権の第二步、  
議会の見える化を

大きな期待を受け、京  
都市会改革推進委員会が  
発足し、本格的な議会議  
改革の議論が始まりまし  
た。公明党議員団から4  
名の議員が論戦に挑んで  
います。一極集中の中央集  
権の限界が指摘されてい  
る中、地方分権のうねり  
を起すため、議会の「見  
える化」を推進してまい  
ります。

### 市民のため政策本位で!

公明党京都市会議員団 代表幹事 曾我 修



公明党京都市会議員団  
は、谷口団長のもと、新体  
制でスタートを切りまし  
た。開かれた市政を実現  
するため、多くの皆様か  
らのお声を積極的に求め、学び、実現  
してまいります。  
市会改革を推進し、「見える化」を  
具体的に進める中で、地方分権の突  
破口を開いていくことが、公明党の  
使命と確信しています。  
混迷を深める社会の闇を照らし、  
市民本位の市政を実現する「政策創  
造集団」として、全力で東奔西走し  
てまいります。

### 新たな決意でスタート!

公明党京都市会議員団 団長 谷口 弘昌



この度の統一地方選挙  
で、公明党京都市会議員団  
は12名全員が当選を果た  
し、新たな決意でスタート  
をいたしました。皆様から  
寄せられました市政に対する大きな  
ご期待に応えるべく、12名が団結を  
して全力で頑張つてまいります。  
議会や議員に対する市民の皆様  
の視線を敏感に感じ、現場現地に軸足  
を置いて、直接皆様の声をお聞きし  
ながら期待にお応えのできる活動を  
して参ります。  
皆様からの率直なご意見、ご要望  
をお寄せいただきますよう、心から  
お願いいたします。



ひ おき ふみ あき  
**日置文章議員「北区」**

**予算編成について**

日置文章議員は、厳しい財政状態の中で編成される23年度予算について、財政構造改革を進めると共に、部局の枠組みを越

えたビジョンを提起。将来の世代に負担を押し付けない視点を重要性を指摘し、市債発行の縮減目標を設定するよう求めました。門川市長は、市民参加と情報公開を進め財政構造改革を推進すると確約しました。

**補助金制度について**

また、公平で効果的な補助金制度が不可欠であるとし、第三者機関の設置や「競争選抜方式」導入を提案。市長は市民からアイデアを公募するなど透明性と

市民参加を重視すると答弁しました。

**職員の配置および構成について**

市民に身近な区役所のある方に言及し、市民サービスとの直接窓口である区役所を活性化するため、様々な課題に積極的に取り組むよう求め、若手とベテランが切磋琢磨する融合の観点を論じました。

**日置文章議員のおもな質問項目**

- 予算編成について
- 指定管理者制度の運用について
- 補助金制度について
- 中小企業支援について
- 自治基本条例制定について
- 職員の配置および構成について



**代表質問**

京都活性化へ!

京都市会定例会議の代表質問で、公明党市議員団は市民目線の政策を提言。平成23年2月議会では3月1日に日置文章議員(北区)、井上教子議員(下京区)、湯浅光彦議員(右京区)が、5月議会では5月27日に青野仁志議員(中京区)と国本友利議員(左京区)が質問に立ちました。



いのうえ のりこ  
**井上教子議員「下京区」**

**子ども・若者育成支援の取り組みについて**

井上教子議員は、社会全体で青少年育成を支援する環境づくりの重要性を踏まえ、特別な支援を必要とする人たちへの温かな配慮と、心のバリアフリーなどの具体的な取り組みを求め、門川市長は「京都市ユースアクションプラン」の基本方針の1つに位置づけ、特別な支援

が必要な人たちへのサポート体制を強化すると答弁しました。

**DV被害者支援について**

また、23年秋にDV支援センターが開所するにあたり、被害者の方の自立支援を充実するため、市のOB職員を婦人相談員として登用することを要望。副市長は、区役所等と緊密な相談、対応を行うとともに、住宅の確保の



ゆ あさ みつひこ  
**湯浅光彦議員「右京区」**

**ひとり暮らしのお年寄り見守りサポーター制度について**

湯浅光彦議員は、独居高齢者の孤独死などが社会問題化している憂慮すべき事態を解決するため、現在進行中の「見守りサポーター制度」1万人達成に向けて、ボランティアポイント制度の創設を提案。副市長は新聞販売所や郵便局との連携体制を

**環境産業に携わる中小企業支援について**

京都市、京都府内の環境産業企業を把握すると共に、海外への販促活動など中小企業自らが国際企業として活躍できる環境づくりが行政に求められていると主張。市長からは低炭素社会を先導するエコ製品・サービスを「京都

**国民健康保険証の個人カード化について**

国民健康保険制度における被保険者の利便性向上のため、健康保険証を「ブランド」として選定し、国内外へ発信していく仕組みを検討するとの答弁がありました。



**地下鉄の経営健全化について**

地下鉄の経営健全化の情報提供や行政手続きに同行するなど、切れ目のない支援を行っていくと答弁しました。



**井上教子議員のおもな質問項目**

- 子ども・若者育成支援の取り組みについて
- 不登校に関する意識改革について
- わかりやすい授業について
- DV被害者支援について
- 商店街の活性化について
- 地下鉄の経営健全化について

ための具体的施策として、駅業務の民間委託の促進と駅ナカビジネス拡大を訴え、市長はH24年度中に計画に掲げた目標を達成すると答弁しました。

**湯浅光彦議員のおもな質問項目**

- 環境産業に携わる中小企業への支援について
- ひとり暮らしのお年寄り見守りサポーター制度について
- 自転車安心安全条例について
- 歯科保健について
- 国民健康保険証の個人カード化について
- 中学生の部活動について
- 細街路対策について

カード化し各自が持てるようにするべきと提案したところ、保健福祉局長は早期実現への検討を開始すると答弁しました。



あおの ひとし  
青野 仁志 議員「中京区」

中小企業支援について

青野仁志議員は、東日本大震災で被災した方々へのお見舞いを申し上げると共に、被災地との取引関係があつた市内の企業が影響を受けている実態を重視。柔軟かつスピード感を持った施策を矢継ぎ早に打つことを提案し、地域経済の成長戦略として、京都の強みを活用した「良い現場」創出への施策を論じました。



青野仁志議員のおもな質問項目

- 中小企業支援について
- 業務継続計画策定について
- 被害者支援システムの導入について
- 太陽熱エネルギーの利活用について

業務継続計画策定について

また、大災害での自治体自らの深刻な被害を想定し、市民生活に影響を及ぼすことなく業務を継続するための「業務継続計画」策定を主張。市長から早期実現の答弁を引き出しました。

被害者支援システムの導入について

今回の大震災の教訓を踏まえ、大量の情報処理を迅速に実施できるよう、西宮市で開発され全国の自治体に普及している「被害者支援システム」導入を訴えました。



くにもと ともと  
国本 友利 議員「左京区」

災害時の水源の確保について

国本友利議員は、京都市の防災計画に当たって、避難所となる小中学校での生活用水のあり方を重視し、公共施設に井戸を設置するなどの水源確保の施策を提言。門川市長は、いざという時の市民生活を守るため、ライフラインの対策を積極的に取り組むと確約しました。



防災意識向上に向けた取り組みについて

また、市民の生活実態や地域事情に合わせた防災計画が不可欠と論じ、市民の防災意識向上への施策を求めました。副市長は、防災マップなど視覚的に分かりやすい工夫をはじめ、市民本位の適切な情報提供を表明しました。

国本友利議員のおもな質問項目

- 災害時の水源の確保について
- 防災意識向上に向けた取り組みについて
- サル被害対策について
- 地域包括ケアシステムについて

サル被害対策について

左京区をはじめ山間部で頻発するサルの被害について、「バッファゾーン」整備を進めるとともに、近隣自治体との広域連携を主張。具体的な施策を提案して京都市活性化を進めました。

常任委員会 レポート

現場第一で、暮らしを守る

他の3委員会は4面をご覧ください。



経済総務委員会

日置文章、久保勝信

行財政改革へ、現場発の政策提言を  
経済振興・財政を担当しています。今年度からスタートする「京都市基本計画」については、財政構造改革と一体で取り組むことをしっかり議論し、京都市へ提案してまいります。

また、新技術・新商品の開発につなげる知恵産業事業の推進、中小企業支援、観光立国プロジェクトなどの推進についても、現場発の政策提案を行ってまいります。



京都産学公共共同研究拠点「知恵の輪」開所記念式典に出席



暮らし環境委員会

曾我 修、青野仁志

京都の未来へ、市民の暮らしを守ります  
地球温暖化対策など環境政策と文化芸術振興、区民サービス向上など、多岐にわたる分野を担当します。

今年度は、ごみ埋立処分場の長寿命化に寄与する焼却灰溶融施設や、京都府会館再整備などハード面の取組み、地域コミュニティ活性化の推進を図る条例案や路上喫煙対策などについて議論を重ねています。市民の目線、現場第一主義で暮らしを守る施策を提言して参ります。



焼却灰溶融施設を視察



## 教育福祉委員会

湯浅光彦、国本友利

### 教育力の向上・子育て支援の充実

保健福祉局と教育委員会を担当しています。全国的な課題となっている子育て支援とともに、学校指導要領の改訂による教育改革、特に「教育力の向上」、「環境教育・人権教育」などにも様々な提言を行っていきます。

さらに、東日本大震災を受け、積極的に被災地の復興や、京都市への避難者支援などにも全力を挙げてまいります。



環境教育に取り組む、朱雀第四小学校を視察



## まちづくり委員会

谷口弘昌、平山賀一

### 安心安全のまちづくりへ全力

都市計画局と建設局を担当します。少子高齢化が進展する中、交通機関や住宅のバリアフリー化の推進に取り組んでいきます。空き家対策や住まい環境の整備なども重要です。また、一般住宅の耐震化や細街路での避難対策など都市の防災機能強化を図らねばなりません。安心して住み続けられる京都の「まちづくり」へ市民の声を届けていきます。



バリアフリー化された嵐電帷子ノ辻駅を視察



## 交通水道消防委員会

大道義知、井上教子、津田早苗、吉田孝雄

### 防災、ライフラインなど重要課題に挑む

消防局、交通局、上下水道局を担当します。東日本大震災復興支援や被災者の方々への支援と同時に、市民の命を守るため、防災・危機管理・ライフラインの充実を推進しています。

また、地下鉄や市バスの経営健全化をすすめ、京都活性化を軌道に乗せるため、きめ細かな施策を提案し、実現します。



ヘリコプターに搭乗し、上空から市内を視察

他の2委員会は3面をご覧ください。

中京区

青野 仁志

①1期②くらし環境委員会③政調副会長

左京区

国本 友利

①1期②教育福祉委員会③政調事務局長

上京区

吉田 孝雄

①2期②交通水道消防委員会③幹事

北区

日置 文章

①6期 ②経済総務委員会

右京区

湯浅 光彦

①3期 ②教育福祉委員会 ③幹事

南区

大道 義知

①6期 ②交通水道消防委員会

下京区

井上 教子

①4期 ②交通水道消防委員会

山科区

久保 勝信

①3期②経済総務委員会③副団長

伏見区

津田 早苗

①3期②交通水道消防委員会③政調副会長

伏見区

曾我 修

①3期②くらし環境委員会③代表幹事

伏見区

谷口 弘昌

①6期 ②まちづくり委員会 ③団長

西京区

平山 賀一

①2期②まちづくり委員会③政調会長

公明党京都市会議員団の顔ぶれ

①期数 ②委員会 ③会派役職



京都いつでもコール  
市政情報総合案内コールセンター

市の手続きや制度、イベント、施設に関する問合せにお答えする窓口です。  
午前8時～午後9時(年中無休)

みなここ TEL:075(661)3755 FAX:075(661)5855  
ごようはここ

●電子メール(以下のホームページから)  
パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>  
携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

左記の二次元コードから携帯電話でアクセスできます(一部機種除く)

みなさまの「ご意見」・「ご要望」などを  
公明党京都市会議員団にお寄せください

●TEL:075(222)3732  
●FAX:075(212)3608  
●ホームページ: [公明党京都市会](#)